

## 第35回女川地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

### 1. 日 時

令和6年1月17日（水） 10:30～11:00

### 2. 場 所

テレビ会議

### 3. 出席者

- (1) 国 : 内閣府、原子力規制庁、経済産業省
- (2) 関係自治体等 : 宮城県、宮城県警察本部
- (3) オブザーバー : 女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町、東北電力株式会社
- (4) 庶務 : 内閣府 林崎推進官、藪本専門官、岡本専門官、奥山主査、吉村主査

### 4. 議 題

- (1) 令和5年度宮城県原子力防災訓練について
- (2) その他

### 5. 配布資料

- ・資料 令和5年度宮城県原子力防災訓練の概要

### 6. 概 要

- (1) 令和5年度宮城県原子力防災訓練について
  - 令和5年度宮城県原子力防災訓練の概要について、宮城県から資料に基づき、説明があった。
  - 宮城県からの説明後、内閣府から、昨年12月の女川地域の緊急時対応の改定を踏まえ、どのような訓練を実施するのか質問があった。
  - これに対して、宮城県から、令和5年度から運用開始している避難支援アプリをより一層普及させるため、PAZ・準PAZの住民だけでなくUPZの住民についても、避難支援アプリを活用し避難等を実施する旨、回答があった。また、避難経路の検証のため、多重化した海路避難経路を經由し、港湾から避難先へ陸路避難を実施する旨、回答があった。
- (2) その他
  - 内閣府から、作業部会の開催趣旨について改めて説明するとともに、PDCAサイクルの観点から、訓練で得られた教訓事項などを基にした緊急時

対応の改定や新たな取組を必要とする案件があった場合には作業部会で議論して対応し、年に2回程度開催することを確認した。

以 上